

# 第25回「市民の声」アンケート 集計結果

「市民の声」アンケートは、市民の皆さんの市政や生活環境についての意識や意見などの傾向を調査し、市政運営の参考にするものです。2年に1度、実施しています（前回は令和3年度に実施）。今回、7月に行った第25回アンケートの集計結果がまとまりましたので、抜粋してお知らせします。

また、今回からインターネットを利用した回答が可能となり、その回答者数は184人（18・2%）でした。調査にご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。いただいた貴重なご意見を参考に、今後の市政運営に取り組みます。

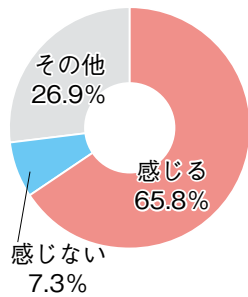
## 基本項目・基本調査項目

住んでいる地区、年齢、職業などの項目のほか、行政分野に関する「市民実感度」について質問しました。

「市民実感度」とは、桐生市におけるまちづくりの指針となる「桐生市第六次総合計画」の指標の一つです。令和元年度の調査から質問しており、今後の「市民の声」アンケートでも同様の質問をして、回答の推移をみていきます。

### 市民実感度が高い (上がった) 項目

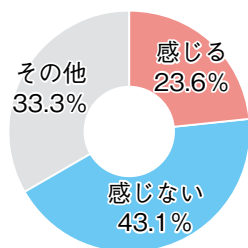
安心して水道を使用することや、下水道整備、自然環境については、約7割から8割と、高い市民実感度を得られました。これらは本市の強みであり、今後も推進していきます。環境への配慮や、ごみ減量への取り組みでも、5割以上の市民実感度がありました。生涯学習環境や、本市の芸術・文化への愛着、また、まちとしての価値や魅力を問う設問でも、市民実感度（感じる）が増加しており、活動しやすい環境が整っていることや、歴史・文化に親しみを持っていることが伺えました。



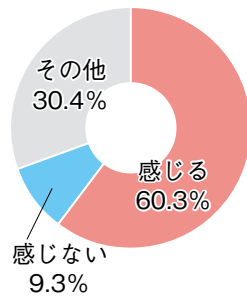
「ごみの減量や資源のリサイクルを意識して生活している」

### 市民実感度が低い (下がった) 項目

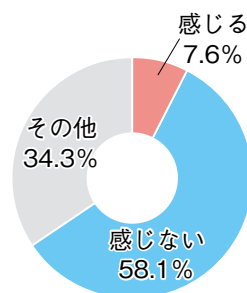
企業誘致や働きやすい環境の整備などに関する設問についての市民実感度は10パーセントを下回る結果でしたが、前回までの調査結果と比べると、増加の傾向も見られました。子育て支援や高齢者福祉、医療などに関する設問では、前回調査時と比べて、市民実感度（感じる）が減少し、逆に「感じない」が増加する結果となりました。男女共同参画や多文化共生に関する設問についても、「感じない」が市民実感度（感じる）を上回っています。



「市中心部や周辺都市へ快適にアクセスできる道路網が整っている」



「治安が良く、安心して暮らすことができる」



「働きやすい環境がある」

## 調査概要

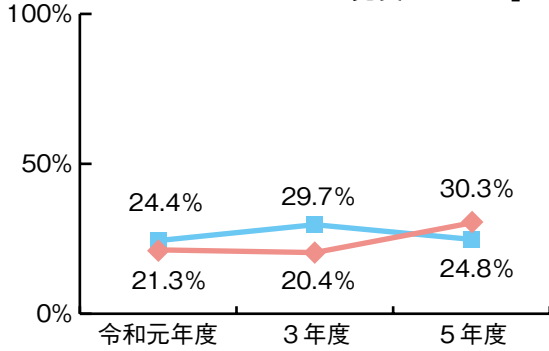
調査地区	市内全域	調査方法	調査用紙を対象者にメール便で送り、郵送またはインターネット回答により回収
調査対象	18歳以上の市民	調査項目	基本項目6問、基本調査項目42問、個別調査項目27問
対象者数	2,000人	回収数	1,012人(前回996人)うちインターネット回答184人
抽出方法	無作為抽出	回収率	50.6%(前回49.8%)うちインターネット回答18.2%
調査期間	7月15日～31日		

※市民実感度とは、各質問に対して「感じる」と回答した人の割合

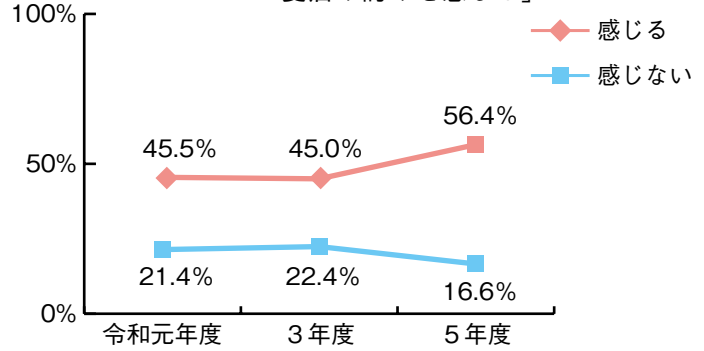
※「感じる」は「大いに感じる」と「やや感じる」の合計、「感じない」は「あまり感じない」と「感じない」の合計、「その他」は「どちらともいえない」「無回答」の合計

## 市民実感性が増加した項目

「生涯にわたって学習できる環境が充実している」

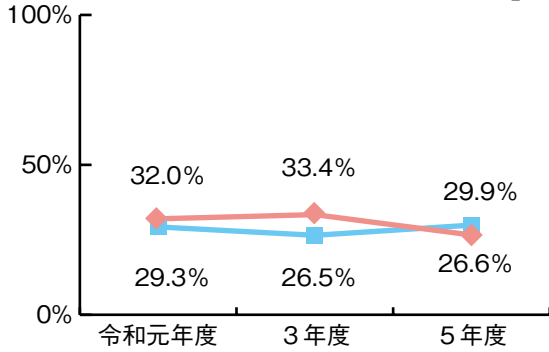


「市の芸術や文化、文化財に愛着や誇りを感じる」

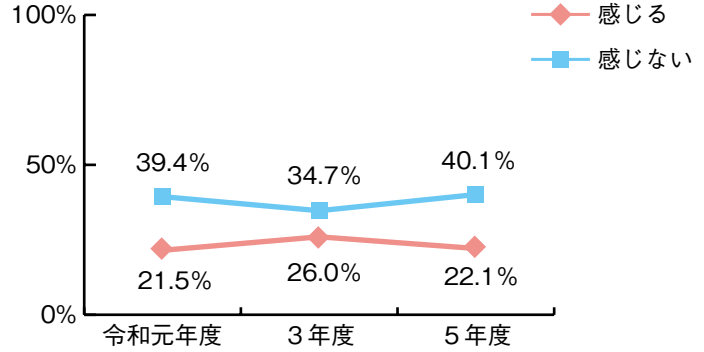


## 市民実感性が減少した項目

「安心して子どもを産み育てることができる」



「高齢者にとって暮らしやすい」



## 個別調査項目

市政における次の13分野について、質問しました。

- ① 幸福実感性 ② シティブランディング ③ 生涯を通じた健康づくり ④ 地域医療 ⑤ 防災 ⑥ 広報 ⑦ きりゆう市議会だより ⑧ 市内の移動 ⑨ SDGs ⑩ 日本遺産 ⑪ インターネットの利用状況 ⑫ 桐ペイ ⑬ 消費生活センター

## 自由意見

自由意見記入欄には、373人の皆さんから、865件の意見が寄せられました。※多くの意見（1項目につき20件以上）があった項目

- ① 公共交通・交通施策 ② まちづくり・活性化 ③ 商店街活性化 ④ 子育て支援 ⑤ 観光振興 ⑥ 道路整備・管理 ⑦ 市政運営 ⑧ 企業誘致 ⑨ 人口減少対策 ⑩ 動物園・遊園地 ⑪ 高齢者支援

## 全文を読みたい人は

結果の全文を掲載した冊子は、市民相談情報課（市役所2階）、両支所、各公民館、市ホームページにあります。

問い合わせは市民相談情報課 広報・相談担当（☎内線472）

こんにちは  
市長です



市民の皆様全員に配布  
桐ペイ5000ポイント

コロナ禍から社会経済活動が正常に戻りつつある一方で、不安定な国際情勢は物価高騰を招き、市民の皆様の家計へ大きな影響を及ぼしているものと思います。

そこで、市民の皆様の負担を軽減するため、昨年度ご好評をいただいた5000円分の桐ペイカードを、今年度も市民の皆様全員に配布します。10月1日現在で桐生市に住民登録がある方へ、11月末までに配布する予定です。

昨年度の事業では、ポイントの有効期限までに約5億円分が市内で使われました。今年度も同様の効果を見込んでいます。これにより、家計の負担軽減だけでなく、市内経済の好循環につながることも期待しているところです。

使えば使うほど桐生が元気になる、桐ペイのポイントをぜひ、余すことなく活用してください。

桐生市長 荒木 恵司